

第2学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年11月14日(木)5校時

児 童 第2学年 男3名 女1名 計4名

1 単元名 あなのやくわりをかんがえよう

教材名 「あなのやくわり」

2 児童の実態

児童は、2年の6月に説明文「ふろしきは、どんなぬの」の学習で、説明する文章には、目的や場所、用途により文の数や一文の長さなど表現方法に違いがあることを理解し、カードを作成する学習を行った。7月に「じゅんじょよく書こう」では、1学期心に残ったことを思い出し、順序を考えて「はじめ」「中」「おわり」の構成で、文章に書く学習を行った。10月には、説明文「ビーバーの大工事」で、大事なことに気をつけながら文章を読み、問題と答えを作る学習を行ってきた。これまで、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読み取ることや、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す活動を行ってきたが、説明する文章を読んで感じたことや分かったことを共有するという経験は十分ではない。

本単元では、穴の役割を説明する大事な言葉や文を見つけながら教材文を読み、自分の思いや考えをまとめ、身近にある穴の役割について説明するオリジナルの文章を書いて、工夫したことや分かったことを発表したり、友達の発表を聞いて感想を交流したりする学習を進めたい。

3 身に付けさせたい力と言語活動の構想

【身に付けさせたい力】

文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。(C 読むこと(1)ウ)

文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。(C 読むこと(1)カ)

【本単元の言語活動】

身の周りの物にある穴の役割を考え、説明する文章を書いて交流する。

(「C 読むこと」(2)言語活動例ア)

【言語活動の特徴】

本単元の言語活動として、「C読むこと」(2)の言語活動例「ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動」を具現化し、身の周りにある物の穴の役割を考えながら文章を読み、読んで分かったことをもとに文章を書いて交流する活動を位置づけた。

【複式学習を行う上で付けなければならない力】

ア 学習の進め方が分かり、意欲的に学習に取り組むことができる。

イ 自力解決の中で自分の考えを持つことができる。

ウ ペア学習で自分の考えを話したり、友達の考えを最後まで聞いたりすることができる。

エ 友達の発表をよく聞いて自分の考えと比べることができる。

4 指導にあたって

本単元は、穴のやくわりについて、「始め」「中」「終わり」の3つの文章で構成されている。「始め」は、穴はなんのためにあいているのか、読み手に呼びかける文章が書かれており、「中」には、五十円玉やコンセント、植木鉢、醤油さしを例に出し、それぞれの役割と理由が書かれ、「終わり」には、まとめとして穴には色々な役割があり、他にも身の回りには穴のあいているものがたくさんあることを知らせ、読み手に穴を探してどんな役割があるのか考えてみるよう呼びかける文章になって

いる。形式段落ごとに内容がまとめられているため、大事な言葉や文が見つけやすく、「始め」「中」「終わり」の構成もとらえやすくなっている。そして、身近にあるものが例に挙げられており、児童にとっても自分の経験と結び付けて穴の役割を読み取ることができ、考えを広げていきやすい教材といえる。

第一次では、身の周りにある穴のあいている物に関心を持ち、穴の役割について考えようとするとともに、身の周りにある穴の役割について考え、説明する文章を書くという学習課題について確認する。

第二次では、文章全体を「始め」「中」「終わり」の三つに分け、「中」に書かれていることを読んで、それぞれのものの穴の役割や理由を読み取り、説明の仕方を理解できるようにする。

第三次では、身の周りの物にある穴の役割について考えたことを説明する文章を書き、感想を交流できるようにする。

5 単元の目標

文章から読み取ったことをもとにして、身近にある穴の役割について説明することができる。

学習指導要領との関連:C(1)ウ、カ(2)ア 言葉の特徴(1)ア

6 評価規準

(1) 知識・技能

言葉の特徴(1)ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。

(2) 思考・判断・表現

C(1)カ ◎構成や事柄の順序を考えて文章を読み、工夫したことや分かったことを発表したり、友達の発表を聞いて感想を交流したりする。

C(1)ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

進んで順序を考えて文章を読み、学習課題に沿って分かったことをもとに文章に書いて交流しようとしている。

7 単元の指導計画(14 時間計画)

次	時	学習活動	言語活動に関する留意点	評価基準(評価方法)
一	1	1 教材文「あなのやくわり」と出会う。 ○教科書の写真を見て、何の穴なのかを想像し、考えたことを発表する。 ○「あなのやくわり」の教師の範読を聞く。 ○初めてわかったこと、疑問に思ったこと、もっと知りたいこと、感想などを書く。	・写真を見て、何の穴なのか考えたことを発表する。 <u>手立て①<視点1></u> ・新出漢字、難しい語句の意味を調べた後、音読させる。 <u>手立て①<視点1></u>	【主】身の回りにある穴のあいている物に関心を持ち、これからの学習に意欲を持って取り組もうとしている。 (発言・行動観察)
	2	2 学習の計画を立て、見通しを持つ。 ○教科書 P108 に書かれている学習の流れを確かめ、学習の見通しを持つ。 ○考えたことを説明する文章を書くために、どのようなことが大切だと思うのか発表をする。 ○身の周りにあるあなの役割について考え、説明する文章を書くという	・「始め」「中」「終わり」の意味と構成など、説明の文章の特徴を、既習事項を使って確認しておく。 ・目的や用途を考えさせる。 <u>手立て①<視点1></u> ・単元のゴールとなる作品を紹介し、その作品をつくるために必要な技について考える。	【主】進んで学習の見通しを持ち、あなの役割について考えようとしている。 (発言・ワークシート)

		学習課題を確認する。	<p>手立て①<視点1></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の説明文に書きたい「穴」を見付けておくことを知り、学習を振り返らせる。 	
二	3	<p>3 教材文を読んで、文章の構成をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全文を音読して、形式段落を確認する。 ○文章全体を、「始め」「中」「終わり」に分ける。 ○「始め」の部分の内容を読み、これから説明する話題が提示されていること、「問い」の文があることを確かめさせる。 ・自分の説明文にどのように取り入れるのか考える。 ○「中」には、穴の役割の具体例として、どんな物が紹介されているのかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「始め」と「終わり」を確かめ、そのうえで「中」に書いてあることをとらえさせる。 <p>手立て②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中」には、穴があいている物の例が四つ挙げられていること、それぞれには写真や図が説明に添えられていることを確認させる。 <p>手立て②</p>	<p>【主】進んで学習の見通しを持ち、あなの役割について考えようとしている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
	4	<p>4 分かりやすい説明文の書き方について、筆者の工夫を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○五十円玉の穴の役割やその理由を大事な言葉や文の順序に着目して読み取る。 ○1文目では、穴のあいている物と位置、2文目では穴の役割、3文目以降で詳しい説明を述べていることを確認し、学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの文でできていることを確認し、それぞれの文の内容と説明の順序を確かめる。 ・役割について、「～ためのあなです。」という表現に着目させる。 <p>手立て②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴の役割やその理由を短くまとめて整理させる。 <p>手立て②</p>	<p>【思】五十円玉の穴の役割について、大事な言葉や文を見付けながら読んでいる。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
	5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○プラグの穴の役割やその理由を大事な言葉や文の順序に着目して読み取る。 ○1文目では、穴のあいている物と位置、2文目では穴の役割、3文目以降で詳しい説明を述べていることを確認し、学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの文でできていることを確認し、それぞれの文の内容と説明の順序を確かめる。 ・五十円玉での説明の仕方を確かめさせ、同じ「～ためのあなです。」という表現に着目させる。 <p>手立て②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴の役割やその理由を短くまとめて整理させる。 <p>手立て②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このことにより」という言葉に着目させ、プラグの穴に出張りを引っかけることが、「プラグをぬげにくくするため」であることをとらえさせる。 	<p>【思】プラグの先の穴の役割について、大事な言葉や文を見付けながら読んでいる。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>

	6	<p>○植木鉢の穴の役割やその理由を大事な言葉や文の順序に着目して読み取る。</p> <p>○1文目では、穴のあいている物と位置、2文目では穴の役割、3文目以降で詳しい説明を述べていることを確認し、学習を振り返る。</p>	<p>・4つの文でできていることを確認し、それぞれの文の内容と説明の順序を確かめる。</p> <p>・「～ためのあなです。」という表現に着目させる。手だて②</p> <p>・穴の役割やその理由を短くまとめて整理させる。手だて②</p> <p>・「～(する)と、～ます/です。」に着目させ、水を外に出す理由が「ねをくさらさないため」であることをとらえさせる。</p>	<p>【思】植木鉢の底の穴の役割について、大事な言葉や文を見付けながら読んでいる。 (発言・ワークシート)</p>
	7	<p>○しょうゆ差しの穴の役割やその理由を大事な言葉や文の順序に着目して読み取る。</p> <p>○1文目では、穴のあいている物と位置、2文目では穴の役割、3文目以降で詳しい説明を述べていることを確認し、学習を振り返る。</p>	<p>・4つの文でできていることを確認し、それぞれの文の内容と説明の順序を確かめる。</p> <p>・「～ためのあなです。」という表現に着目させる。手立て②</p> <p>・穴の役割その理由を短くまとめて整理させる。手立て②</p> <p>・「ですから」に着目させ、空気が入る穴が必要な理由が、「空気のカで押してしょうゆを出すため」ということをとらえさせる。</p>	<p>【思】醤油差しの二つの穴の役割について、大事な言葉や文を見付けながら読んでいる。 (発言・ワークシート)</p>
	8	<p>○分かりやすい説明文の書き方について、筆者の工夫をまとめる。</p>	<p>・「終わり」に書かれている内容を読み取る。</p> <p>・「このように」に注目させ、全体のまとめであることを押さえさせる。</p> <p>・説明する文章を書くための技について振り返る。</p>	<p>【思】「始め」「中」「終わり」の構成をとらえ、説明文を書くための技について考えている。 (ワークシート・発言)</p>
三	9 ～ 13	<p>○身の回りにある物にある穴を探し、教科書の説明の仕方をもとにして、穴の役割について考えたことを説明する文章を書いて交流する。</p> <p>○単元を振り返る。</p> <p>・単元全体の学習を振り返り、分かったことや身に付いたこと、できるようになったことをまとめる。</p>	<p>・穴があいているものの中から、自分が文章に取り上げたい物を決めて、穴の役割について考えたり調べたりさせる。手立て②</p> <p>・文章を書いたら友達と交流し、感想を出し合う。手立て②</p> <p>・家族にオリジナルの文章を渡して、感想をもらう。手立て②</p>	<p>【思】身の回りにある穴のあいているものについて、その穴の役割を考え、構成や事柄の順序を考えて文章に書いている。 (行動観察・書いた文章)</p> <p>【知】自分が調べた穴のことを伝えるために、言葉を選ぶことに気付いている。 (発言・ワークシート)</p> <p>【思】工夫したことや分かったことを発表したり、友達の発表を聞いて感想を交流したりする。 (行動観察・書いた文章)</p>

8 本時の学習

(1) 目標 大事な言葉や文を意識して、プラグの穴の役割を読み取ることができる。

(2) 本校の研究との関わり〈遠野中学区の視点〉

- ① 課題意識の持続の工夫…前時までの学習内容を確認して課題を作る。〈遠野中学校区 視点1〉
- ② 学習活動の工夫…(学び合い) ペア・全体学習を取り入れる。
- ③ 達成状況の把握の工夫…学びをワークシート、ホワイトボードに残し、把握に生かす。

〈遠野中学校区 視点2〉

(3) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点【評価】(評価方法)
導入 5分	1 学習範囲を音読する。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">プラグのあなのやくわりは何だろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する範囲を確認できるようにする。 ・前時の学習を想起させ、意欲付けを図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">手立て① <視点1></div> ・児童の言葉を生かして課題を作る。(発言、ワークシート)
展開 35分	3 プラグについて書かれている文章も4つの文でできていることを確認する。 4 穴の役割と、それに続く詳しい説明から、その理由を考えてワークシートに整理する。 ○穴の役割を読み取る。 ○その理由を読み取り、短い言葉で書く。 ①一人学び(ワークシート) ②全体学習	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味を確認しながら、写真や絵と本文が関連していることに気づかせる。 ・五十円玉での説明の仕方を確かめさせ、「～のためです。」という表現に着目させ、役割を記入し、ペアで確認する。 (ワークシート、発言) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">手立て②</div> ・一人学び後、リーダーを中心に話し合い活動をする。 (ワークシート、発言) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">手立て②</div> ・全体学習で話し合ったことを、ホワイトボードに書いて発表させる。(ホワイトボード、発表) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">手立て②</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">手立て③ <視点2></div> <p>【思】プラグの先の穴の役割について、大事な言葉や文を見付けながら読んでいる。(発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このことにより」という言葉から、プラグの穴に出っ張りを引っ掛けることが、「プラグをぬけにくくするため」であることをとらえさせる。 ・役割、詳しい説明、理由という順番で説明文が書かれていることとおさえさせる。
	5 学習したことをまとめる。	

<p>終末 5分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>・振り返りの視点を与え、ワークシートに評価させて発表させる。 (ワークシート・発言) 手立て③ <視点2></p> <p>・次時は植木鉢の役割やその理由を読み取っていくことを確認し、意欲付けを図る。</p>
------------------	---	--

9 板書計画

十一月十四日

あなたのやくわり にいだゆみこ文

プラグがぬげにくくなるから。

りゆう

ホワイトボード

やくわり

るため。

コンセントにさしこむプラグの先には、あなたがあいています。これは、出っぱりを引っかけるときのあなたです。コンセントの中には出っぱりがあり、それが、プラグのあなたに引っかかるようになっていきます。このことにより、プラグがぬげにくくなるのです。

絵

このことにより、プラグがぬげにくくなるのです。